

京都ジャーナル宣言

Journal of Mathematics of Kyoto University は、2010年発行の第50巻より、新しい編集委員会が、新しい名称

Kyoto Journal of Mathematics

のもとに、新しい出版社 Duke University Press から出版します。

我々の雑誌は、過去において、永田雅宜教授の代数多様体のコンパクト化に関する論文をはじめとして、数多くの一流論文の出版により、京都の数学の高い水準を世界に示してきました。我々はこの伝統を次の50年に継続し、高めて行く決意をここに宣言します。

我々は、京都ジャーナルが日本の数学の中で果たしてきた役割を再確認し、著者としてあるいはレフェリーとしてこの雑誌を支えてくださった多くの数学者に感謝し、今後は欧米の一流雑誌に負けないアジアの数学雑誌の標準としての確固たる位置を目指します。

そのための第一歩として、新たに次の方々を編集委員会に迎え、より主体的な編集を行います。（以下敬称略）

河合隆裕（京大数理研）、小林俊行（東京大学）、神保道夫（立教大学）、肥田晴三（UCLA）、望月拓郎（京大数理研）、吉川謙一（東京大学）、Daniel Huybrechts (Bonn), Dmitry Kaledin (Steklov, Moscow), Vikram Mehta (Tata Institute), Yong-Geun Oh (Wisconsin-Madison), Zhouping Xin (Hong Kong), Marc Yor (Paris), Guoliang Yu (Vanderbilt).

雑誌の目的は今まで同様、純粋数学の最先端の研究論文の出版ですが、Kyoto Journal of Mathematicsでは、招待論文として総説の掲載も行ないません。また、永田先生の追悼記念号の準備も進めています。

50巻からの新しい出版形態は次の二つです。第一に、電子体のパッケージである Euclid Prime collection の1タイトルとして販売されます。さらに、Duke University Press から、単独タイトルとしても、冊子体・電子体両方の販売が行なわれます。詳しくは <http://www.dukeupress.edu/library/> を参照するか、または電子メールで [subscriptions \(at\) dukeupress.edu](mailto:subscriptions@dukeupress.edu) にお問い合わせください。

今後とも皆様に質の高い論文の投稿をお願い申し上げます。

Journal of Mathematics of Kyoto University 編集長 三輪哲二
Kyoto Journal of Mathematics 共同編集長 泉正己, 並河良典